

# 枝野幹事長に訪看事業所の1人開業を要望

## 開業看護師を育てる会

開業看護師を育てる会（理事長：菅原由美全国訪問ボランティアナースの会キャンナス代表）は8月26日、民主党の枝野幸男幹事長宛てに要望書を提出した。厚生労働省が高齢者保健福祉施策の方向性として定めたゴールドプラン21では、訪問看護事業所の設置目標数を9900カ所と掲げているが、2010年4月での事業所数は5731カ所と遠く及ばない。菅原氏は「訪問看護事業所の人員基準である2.5人の要件を満たせず、閉鎖する事業所がある」と指摘。訪問看護事業所数が充足するために、人員基準の2.5人を見直し、1人でも事業所開設が可能になるよう制度改正を求めた。ほかにも▽在宅で要介護者や障害者などが安心して過ごせるよう、訪問看護事業の普及に関する施策を実施する▽潜在看護師を有効な在宅療養・介護の担い手として認識し、その活用と再教育を講じる—ことを要望した。

要望書は民主党副幹事長の糸川正晃衆議院議員が受け取り、「訪問看護事業所の1人開業については、



構造改革特区の議論などを踏まえ、訪問看護師の一人開業を求める要望書を糸川正晃民主党副幹事長（右）に手渡す菅原由美理事長（左）（8月26日衆議院）

（同席している）山崎摩耶氏（衆議院議員）の指導の下、民主党から後押しできるよう努力する」と述べた。

開業看護師を育てる会には、民主党の下田敦子参議院議員や社会民主党党首の福島瑞穂参議院議員、同じく社民党の阿部知子衆議院議員ほか、自民党や公明党議員も発起人に参加している。